

平成25年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT25133 人に病気をうつす虫(蚊)がどんな奴か観察してみよう



開催日：平成25年8月6日(火)

実施機関：金沢医科大学
(実施場所) (教養棟1階および基礎研究棟2階)

実施代表者：村上 学
(所属・職名) (総合医学研究所・講師)

受講生：小学5・6年生 24名

関連 URL：

【実施内容】

＜プログラムの留意工夫点＞

今までの開催で座学講義を多くすると参加児童の集中力が切れてしまうことが多かった。この反省から今年度は学習内容を絞りこみ、参加児童が途中で飽きないプログラム内容として体験学習を主として実施した。講義中も動画や写真の視聴や顕微鏡、虫めがねでの観察を組み込み、集中力が途切れないように工夫した。また、講義に使用するテキストには文字よりも図表や写真を多用し、分かり易い物を準備した。参加児童3-4名に最低1名の指導者を配置し、疑問や質問に迅速に対応できる体制で開催し、観察、標本作製では同伴者には周囲で見守ってもらい、児童本人が自主性を持って行えるようにした。

＜当日のスケジュール＞

10:00-10:20 あいさつ、オリエンテーション、科研費説明、スタッフ紹介
10:20-11:00 講義(衛生昆虫に関して、蚊の話)
11:00-11:10 休憩
11:10-12:00 観察(蚊の種差、蚊の吸血)
12:00-12:40 昼食
12:40-13:30 昆虫の電子顕微鏡観察
13:30-14:20 蚊標本作製
14:20-15:00 観察(昆虫の目線体験:複眼レンズや紫外線フィルター)
15:00-15:40 休憩(アンケート記入)と交代で観察(生きてる蚊の観察)
15:40-16:10 修了(アンケート回収と未来博士号授与)
16:10 解散

＜実施の様子＞

10:00-10:20 あいさつ、オリエンテーション、科研費説明、スタッフ紹介



10:20-11:00 講義(衛生昆虫に関して, 蚊の話)



11:10-12:00 観察(蚊の種差, 蚊の吸血)



12:40-13:30 昆虫の電子顕微鏡観察



13:30-14:20 蚊標本作製



14:20-15:00 観察(昆虫の目線体験: 複眼レンズや紫外線フィルター)



15:00-15:40 観察(生きてる蚊の観察)



15:40-16:10 未来博士号授与



<事務局との協力体制と広報活動>

研究推進課: 日本学術振興会との連絡, 教育委員会経由での県内小学校への案内配布, 申込受付, 会場準備, 飲食物の手配等の実務

出版課: ポスター, リーフレットの作成

広報課: 地元新聞社やテレビ局へのPR, 取材, 記事掲載依頼

<安全配慮>

参加児童3-4名に1名の指導者を配置した。

夏季開催のため熱中症対策として休憩時間を充分にとり, 十分な飲料を用意, 配布した。

標本作りでは化学物質を使用するため, 児童には手袋やマスクを着用させた。

参加児童全員の保険加入

<今後の発展性、課題>

今回は今まで開催した際の反省点を活かし, 講義時間を極力減らし, 実習や体験を多く取り入れたところ, 昨年まで見られた途中で集中力が切れてしまう子はいなかった。

普段接してはいても, 関心を示すことはない蚊(悪い意味で痒い, 嫌い等の関心は示している), ある意味, 身近?な虫を通して昆虫そして生物に関する話をすると子どもは驚くほど興味を示してくれる。プログラム名にとらわれず幅広い内容の話ができるよう実施者も勉強が必要である。

本プログラムで参加者に最も伝えたい点は感染症対策および予防である, しかし対象者が小学生の場合, 内容的にも実生活での感染症との係わり(例えば任意ワクチン接種等は児童の意見ではなく親の意見で行われている)でも親子でかかわる場合がほとんどと考えられる。参加児童を引率してきた父兄などから感染症の質問をされることもあり。ひらめきときめきサイエンスでも小学5・6年生対象の場合は親子教室の様な形式もとれるようになるととても開催しやすくなる。

【実施分担者】

東海林 博樹	一般教育機構・准教授
前田 雅代	一般教育機構・講師
高田 尊信	総合医学研究所・助教
谷口 真	総合医学研究所・助教
竹原 照明	総合医学研究所・主任技術員

【実施協力者】 7名

【事務担当者】

米倉 由佳 研究推進課・事務員